

2025年度後期 第3回 リカレント研修会

# 令和版!覗いてみよう歯科技工士の世界 ～アナログ技工から デジタル技工まで～

広島大学病院 診療支援部歯科部門  
副部門長 歯科技工士 岩畔 将吾 先生



## 講演内容

- ✓ そもそも「歯科技工士」って?
- ✓ 多様化する歯科材料とよくある勘違い
- ✓ 製作プロセス温故知新
- ✓ 歯科技工士のDigital Transformation
- ✓ 歯科衛生士さんとの今後について

## 日時

LIVE配信

12/17 (水) 19:00 ▶ 20:30

オンデマンド配信

12月26日 (金) ~ 1月4日 (日)

## 開催方法

オンライン開催 (Zoom)

LIVE配信日の2日前までに、  
ご登録のメールアドレスへ送信します

## 講演の要約

コ・デンタルとして歯科医療の一翼を担っている歯科衛生士と歯科技工士ですが、意外とお互いの業務について知らないことが多いのではないのでしょうか。今回は、歯科技工士の世界を覗いていただき、「補綴物を作る人」という存在から一歩踏み込んだ認識になってもらえたらと思います。

近年、歯科のデジタル化が日々進んでいます。中でも歯科技工のDigital Transformation (DX) は目まぐるしい状況です。それに伴って、新しい材料が製作可能になり、製作工程も多様化しています。材料名や用語で、最近よく耳にするようになってきたけど、一体どんなものかよくわからない…といったものはありませんか？今一度現状の情報を整理し、一緒に再確認していきましょう。また、歯科技工士にまつわる基本的な言葉の定義や業務範囲についても歯科技工士法を中心に解説します。そして、国内や県内の就業状況を元に歯科技工士の現状についても少し触れたいと思います。

業務上では接点があまり多くない我々ですが、互いの専門性を出し合えばより良い治療が行えるはずです。本講演が、より密接に歯科衛生士と歯科技工士が協働していくための、そしてこれからのDXを始めとする変革に順応していくための一助となれば幸いです。